

調査から90%前後の満足度を得ています。

**Q.**90%という満足度はかなり高い数字ですね。看護師に対する職場改善の取り組みは。

**井原看護部長**／働く看護師の仕事と生活が両立できるワークバランスを重要視しています。このワークバランスとは、看護師が仕事だけに自分の生活の重きを置くのではなく、ゆとりある生活を送るという二つのバランスをうまくとることです。

**Q.**そのワークバランスを実現するためにどんなことをしていますか。

**井原看護部長**／妊娠、出産しても働けるよう託児所を充実させています。子供が小学校に入るまで夜勤時も病気の時も預かっています。また、生活のリズムが整うよう2交代制を導入するなどの工夫をしています。

**Q.**その2交代制の導入はいつから取り入れていますか。

**井原看護部長**／4年前から徐々に導入を始めましたが、当病院の特徴は、2交代制と3交代制が混在していることです。

**Q.**1つの体制に決めた方がすっきりするのではないですか。

**井原看護部長**／現場で働いている看護師は、年齢や生活に合わせて多様な希望があり、1つの勤務体制では対応できないために2交代制と3交代制を取り入れています。最近の新卒の看護師は2交代制の希望が多いようですが、3交代制を希望する看護師もいます。

**Q.**新規の看護師の確保はどのようにしていますか。

**井原看護部長**／新規の看護師の採用については、看護職希望の学生を対象とした説明会に参加して学生と直接面談して当病院の見学会に来てもらっています。実際当病院を見学してもらったり、先輩と直接話をする時間を設けています。

また、ホームページも活用しています。このホームページは、実際の現場がよりイメージできるよう看護部の手作りとなっています。様々な学校を卒業した先輩のメッセージを載せていますが、そこに興味を持つ学生が多いようで、このホームページを見て病院見学に来た学生が「ホームページに書いてあったとおりの病院です」といってくれることが一番うれしいです。

**Q.**看護師の離職率はどうですか。

**井原看護部長**／現在は10%を少し超えています。その大半の理由は結婚や出産、夫の転勤などやむを得ないケースが多いです。

**Q.**看護教育に力を入れていますね。

**井原看護部長**／今の看護基礎教育は、臨地実習の時間が少ないため、医療現場に出た後に教育が求められます。このため、看護の基本的なことから始め、幅広い知識・技術を習得し、ジェネラリストとしてキャリアを積み上げます。

その後、専門分野に興味を持ち、キャリアを生かしてスペシャリストの道へと進むためにいろいろな資格が取れるように支援しています。

**Q.**その看護教育が実ったものとして名古屋記念病院には、認定看護師と専門看護師がそれぞれ1人ずついますね。

**井原看護部長**／皮膚・排泄ケアの認定

看護師と、慢性疾患看護の専門看護師です。また現在、がん化学療法看護と摂食・嚥下障害看護の認定看護師となるため、2名の看護師が受講中です。これらの資格を取得するためには、教育期間が長いこと、経済的負担が大きいことなどから非常に高いハードルを越えなければなりません。このハードルの高さがあるからこそ、より専門的で、質の高いケアが提供できていると思っています。

**Q.**認定看護師や専門看護師がいるだけでも名古屋記念病院の看護レベルの高さが分かります。最後に、どんな看護師を育てたいですか。

**井原看護部長**／ホスピエの理念である「思いやり」と「もてなし」の心で患者さんに安心と満足を提供し、主体的で、自立した、そしてユーモアを持った看護師を育てたいと思っています。

